

今月の会長メッセージ

いつでも青春、心に青空

みなさん、こんにちは。

平成30年度がスタートし、9月1日に辞令交付式が無事終了。早1ヶ月が経ちました。この間、新年度最初の地区会、委員会、そして単会役員会と、ありがとうございました。役職者の皆様は、お元気でお過ごしでしょうか？

私は毎日絶好調で、楽しくて、楽しくて仕方ありません。疲れませんし、ストレスもありません。一緒に明るく参りましょう！

さて、今日は生涯青春というお話をいたします。

丸山敏雄創始者の言葉に以下のものがあります。

「青春」の春とは、「はる」「張る」であります。「はりきること」、「緊張」の意味。いっぱいになること、満ちあふれること、行きわたることです。春に氷は溶けて、ゆるやかに大地を潤します。小さい自分をほうり捨てて、大きい社会に飛び込む。これが、春の姿であります。「春」は青年の気分を象徴します。

一方、「青」は「若さ」をあらわし、のびのびと伸び拡がり、充ちみちて足らぬことなき、無限無窮の色であります。春から夏になり、地上は精一杯に張り切って青一色。海原をうずめるブルー、大空にひろがるコバルト、すべて天も地も青。「青」は青年の生命を象徴するのです。

そう、若者たちは無限の可能性を秘めています。

しかし、概して大人たちが若者を見る目は厳しく、「今時の若者ときたら・・・」と不満をぶつけたがります。だが得てしてそれは、自分に対する嘆きの裏返しであることが多いのではないのでしょうか？「青春」の意味を知らず、「青年の気分」を忘れてしまうからでしょう。だからこそ、我々大人たちは「心の青春」を取り戻すべく努めようではありませんか。

「青春とは、人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのです。」

(サミュエル・ウルマン)

**さあ、今月も張り切っていきましょう。
倫理法人会活動は、明るく楽しく元気よく！！
倫理はパワーだ！！**

埼玉県倫理法人会3大ミッション

1. 単会モーニングセミナーの充実・活性化
2. 1年365日、常時普及
3. 全単会、普及目標完全達成

どうぞ、よろしく願いいたします。

平成29年10月1日
埼玉県倫理法人会
会長 小滝 敏郎